

午後 試験

問 1

問 1 では、基幹 Web システムにおけるセキュリティ対策の設計について出題した。全体として、正答率は高かった。

設問 2(1)では、“DB サーバ”や“レベル x の情報”といった、情報セキュリティ標準で定義していない用語を使った誤った解答が多く見られた。X 社内の全システムに共通の品質要件である情報セキュリティ標準と、C システム固有のネットワークセキュリティ設計方針とを混同したり、ネットワークセキュリティ設計方針において定義されているセキュリティレベルが、情報分類に対して割り当てられていると誤解したりしたものとされる。

設問 2(2)では、保護する情報分類を“極秘情報”だけとした誤った解答や、“極秘情報”及び“機密情報”にアクセス可能な運用管理者を“DB 管理者”だけとした誤った解答が多く見られた。ゾーニングによって実現されるアクセス制御ルールの全体像を把握して、解答してほしかった。

今後、情報システムの設計においては、設計の前提及び設計結果に至る根拠に関する説明責任、すなわち“アカウントビリティ”の重要性が高まってくる。実務においても、情報システムが満たすべき要件を正確に理解し、的確に表現することを実践してほしい。

問 2

問 2 では、社内システムのセキュリティ対策について出題した。全体として、正答率は高かった。

設問 2(2)では、“改ざん防止”という誤った解答が多く見られた。ハッシュ値 = 改ざん防止、と暗記しているのではないかと思われる。ハッシュ関数は、利用する場面によって用途が異なる。図 3 の方式を見て正しく解答できるよう、より理解を深めてほしい。

設問 3(1)g, h の正答率は低かった。今後、バイオメトリクス認証技術は、多くの情報システムで利用されていくと考えられるので、是非、理解を深めてほしい。

設問 5(2)の“ウイルス感染の原因”では、正答率は高かったが、“ウイルス対策ソフトが最新のものがなかったから”といった、漠然とした解答も見られた。本文中の下線の記述にある、“警告メールの指示どおりに実施したために感染した”という具体的な事実に基づいて、解答してほしかった。